

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分
 【発行日】平成 29 年 4 月 13 日 (2017.4.13)

【公開番号】特開 2016-132552 (P2016-132552A)
 【公開日】平成 28 年 7 月 25 日 (2016.7.25)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-044
 【出願番号】特願 2015-9716 (P2015-9716)
 【国際特許分類】

B 6 6 B 31/00 (2006.01)

B 6 6 B 23/24 (2006.01)

B 0 8 B 1/00 (2006.01)

【F I】

B 6 6 B 31/00 F

B 6 6 B 23/24 C

B 0 8 B 1/00

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 3 月 7 日 (2017.3.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

前記目的を達成するために、本発明に係る乗客コンベアのゲートローラ清掃装置は、移動手摺のターミナル部に配置されたゲートローラを回転させる駆動ローラと、この駆動ローラによって回転する前記ゲートローラに接触し、前記ゲートローラに付着したごみを除去する清掃具とを備えた乗客コンベアのゲートローラ清掃装置において、前記駆動ローラは、前記ゲートローラのうちの隣り合う第 1 ゲートローラと第 2 ゲートローラを同時に回転させる 1 つのローラから成り、前記清掃具は、前記駆動ローラを挟むように配置され、前記第 1 ゲートローラに付着したごみを清掃する第 1 清掃具と、前記第 2 ゲートローラに付着したごみを清掃する第 2 清掃具とから成り、前記駆動ローラを、前記第 1 ゲートローラと前記第 2 ゲートローラに接触するように位置決めする位置決め部を備えたことを特徴としている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

移動手摺のターミナル部に配置されたゲートローラを回転させる駆動ローラと、この駆動ローラによって回転する前記ゲートローラに接触し、前記ゲートローラに付着したごみを除去する清掃具とを備えた乗客コンベアのゲートローラ清掃装置において、

前記駆動ローラは、前記ゲートローラのうちの隣り合う第 1 ゲートローラと第 2 ゲートローラを同時に回転させる 1 つのローラから成り、

前記清掃具は、前記駆動ローラを挟むように配置され、前記第 1 ゲートローラに付着したごみを清掃する第 1 清掃具と、前記第 2 ゲートローラに付着したごみを清掃する第 2 清掃具とから成り、

前記駆動ローラを、前記第 1 ゲートローラと前記第 2 ゲートローラに接触するように位置決めする位置決め部を備えたことを特徴とする乗客コンベアのゲートローラ清掃装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の乗客コンベアのゲートローラ清掃装置において、

前記第 1 清掃具を前記第 1 ゲートローラに押圧し、前記第 2 清掃具を前記第 2 ゲートローラに押圧する押圧手段を備えたことを特徴とする乗客コンベアのゲートローラ清掃装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の乗客コンベアのゲートローラ清掃装置において、

前記駆動ローラと、前記第 1 清掃具と、前記第 2 清掃具と、前記押圧手段が収納される枠体を備え、

前記枠体は、前記駆動ローラの回転軸を突出させる穴を有し、

前記駆動ローラの前記回転軸を回転駆動する回転駆動手段を備えたことを特徴とする乗客コンベアのゲートローラ清掃装置。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の乗客コンベアのゲートローラ清掃装置において、

前記移動手摺の走行方向と直交する方向に位置する前記枠体の両側部のそれぞれに取り付けられる一対の側板を備え、

前記位置決め部は、前記一対の側板のそれぞれに形成され、前記第 1 ゲートローラ及び前記第 2 ゲートローラを含む前記ゲートローラを支持するフレームの先端部が嵌入する切り欠き部から成ることを特徴とする乗客コンベアのゲートローラ清掃装置。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の乗客コンベアのゲートローラ清掃装置において、

前記枠体内に移動可能に配置され、前記第 1 清掃具及び前記第 2 清掃具を保持する保持部を備え、

前記押圧手段は、一端が前記枠体に係着され、他端が前記保持部に係着されるばねから成ることを特徴とする乗客コンベアのゲートローラ清掃装置。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の乗客コンベアのゲートローラ清掃装置において、

前記枠体に形成したボルト穴に相対的移動可能に係着され、前記ばねが装着されるボルトと、

前記ボルトに螺合し、前記保持部の前記ボルトの先端方向への動きを規制するナットとを備えたことを特徴とする乗客コンベアのゲートローラ清掃装置。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の乗客コンベアのゲートローラ清掃装置において、

前記枠体を取手を備え、

前記回転駆動手段は電動ドリルから成ることを特徴とする乗客コンベアのゲートローラ清掃装置。

【請求項 8】

請求項 1 項に記載の乗客コンベアのゲートローラ清掃装置において、

前記ゲートローラを支持するフレームは、前記ゲートローラを挟むように位置し、前記ゲートローラを回転自在に支持する第 1 支持部と第 2 支持部とを有し、

前記第 1 清掃具及び前記第 2 清掃具のそれぞれは清掃に用いられるブラシを有し、

前記第 1 清掃具及び前記第 2 清掃具それぞれの前記ブラシの先端の、前記移動手摺の走行方向と直交する方向の幅寸法を、前記第 1 ゲートローラ及び前記第 2 ゲートローラを含む前記ゲートローラの幅寸法以上で、前記フレームの前記第 1 支持部と前記第 2 支持部との間隔よりも小さい寸法に設定したことを特徴とする乗客コンベアのゲートローラ清掃装置。

【請求項 9】

請求項 3 に記載の乗客コンベアのゲートローラ清掃装置において、

前記枠体に、前記駆動ローラを目視可能な窓を設けたことを特徴とする乗客コンベアのゲートローラ清掃装置。